



太田っ子

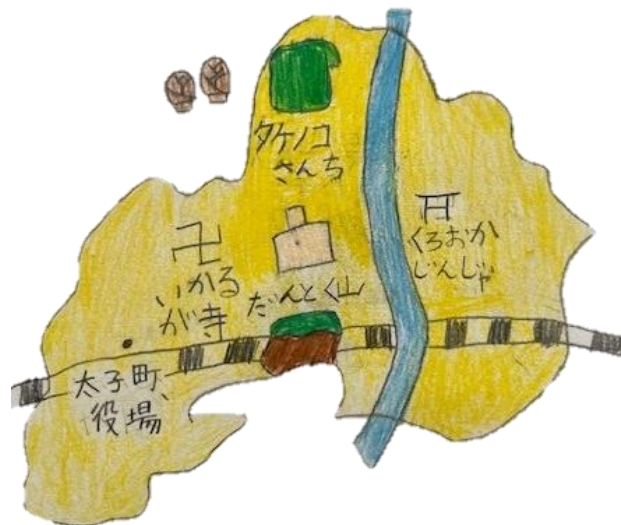
歴史広め隊

～檀特山と黒岡神社の 秘密に迫る～

このパンフレットでは、たくさんの歴史がつまった檀特山と
黒岡神社の魅力を紹介します！ぜひ最後までご覧ください。



檀特山ガイド



檀特山は兵庫県姫路市と揖保郡太子町の境に位置している山で、標高 165.1m。あまり高くはありませんが、山頂からは太子町を見渡すことができます。また、檀特山にはいろいろな歴史も残っています。

そんな檀特山の魅力を紹介します！

黒駒蹄跡(くろこまひづめあと)

檀特山の山頂には、大きな岩があります。その岩にあるたくさんのくぼみが「黒駒蹄跡」です。

岩は 3000 万年ほど前に出来たもので、くぼみは火山活動によって出来たものです。

黒駒蹄跡にはある伝説があります。

伝説とは？

初め、大岩のくぼみは、天皇の^{くつ}沓や杖の跡などと言われていました。けれど、いつからか聖徳太子が愛馬に乗って、檀特山で修業している時に付いた馬の蹄跡と言われるようになりました。



駒つなぎの松とは？

檀特山の山頂には、昔、駒つなぎの松と呼ばれる松が、黒駒蹄跡のそばにありました。この松の木が異香をはなっていたことから「異香留我(イカルガ)」と地名がついたとも言われています。

感動岩と狐塚

感動岩とは？

檀特山にある感動岩は、矢田部と東南にあります。^{とくどうしょうにん}徳道上人の説法に感動して、ひとりでに転がり落ちたとされる岩が、矢田部の「感動岩」です。

また、聖徳太子の説法に感動した岩が、聖徳太子のところまで動いたという伝説が残っているのが、東南の「感動岩」です。この感動岩は、別名「なみだ石」とも言われています。

徳道上人については、次のページで！

狐塚とは？



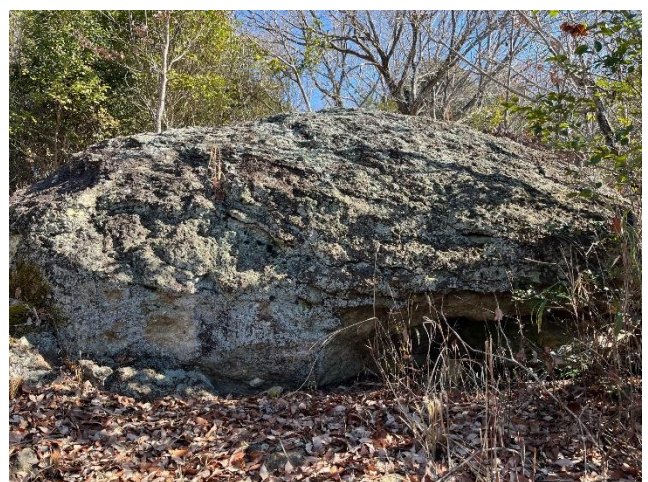
檀特山には、「狐塚」というものがあります。昔、矢田部の村に「千年坊」という狐が住み、村でいたずらをしていました。

しかし、ある日感動岩の下敷きとなって、死んでしまいました。それをかわいそうに思った村の人たちが、「千年坊」を葬った塚が「狐塚」です。

↓ 感動岩



↓ 狐塚



とくどうしょうにん

徳道上人の秘密に迫る！！

生まれた年…656年

どんなことをしたの？

各地を巡って多くの寺院を建立した奈良時代の僧です。大和国の長谷寺を建てたことが有名で、恩徳寺(たつの市)、普光寺(加西市)など各地の寺院の建立にも関係しました。人々に篤い信仰心を与え、仏教を広めました。

「西国三十三所巡礼」は、徳道上人によって始められ、広まっていきました。太子町矢田部の西端には、徳道上人のお堂があります。^{みねあいき}『峯相記』にも「播磨国揖保郡矢田部村の人」と記されています。矢田部に生まれた徳道上人が使ったとされる産湯の井戸が今も残されています。

クイズ！

西国三十三所めぐりの
1番はどこでしょう？
正解を知りたいなら…
下をみてごらん



正解は…熊野詣の終点・那智

播磨物語

檀特山では、かつて合戦(山名軍と赤松軍の戦い)がありました。



赤松^{のりひさ}則尚は、室町時代の武将。「嘉吉の乱」の中心人物である赤松^{みつすけ}満祐は伯父に当たります。

嘉吉の乱では伯父の満祐に従って播磨国で幕府軍と戦いますが、嘉吉元年(1441年)9月に満祐が自害。則尚は播磨から逃亡します。その後、赤松氏の故地である播磨の奪還を目指して挙兵しますが、播磨を与えられていた山名^{そうぜん}宗全によって破られてしまいます。

以後は潜伏していましたが、やがて幕府へ出仕するようになりました。そして、享徳3年(1454年)、宗全と対立する8代將軍足利義政が山名氏討伐を命じました。そこで、則尚は一族を集めて播磨で挙兵するのです。

しかし、享徳4年(1455年)春までに山名軍によって檀特山の陣や室山城を攻められ、撤退を余儀なくされます。則尚は備前国へ逃れますが、山名軍の追跡は厳しく、備前(現在の岡山県)の鹿久居島において一族と共に自害しました。

檀特山で発見！

檀特山に登った時に見つけた物を紹介します

はにわの欠片

山頂へ向かう途中に見つけた何かの欠片。小さいけれど、ガイドさんによると、「はにわの欠片」だそうです。とても貴重な物だと言っていました。

今の時代まで残っているなんて、びっくりですね。



他にも・・・

はにわの欠片以外にも、変わった形の岩や木、植物もたくさん見つけました。ぜひ、どんな物があるか見渡しながらか、檀特山を登ってみてください。

また、季節によって変わる景色も楽しめそうですね。



聖徳太子と檀特山

聖徳太子は、35歳の時、推古天皇の前でお経のお話をされ、それを喜んだ推古天皇に、土地をいただくことになりました。その地は、兵庫県揖保郡太子町にあった「鵜^{いかるがのしょう} 荘」で、聖徳太子が荘園の四方の境にぼうじ石を置いたと言われています。

この話がやがて、聖徳太子が檀特山から石を投げた「投げ石」の話として伝わるのです。どんな話なのか、紹介します。



聖徳太子と投げ石

推古天皇から土地をいただいた聖徳太子ですが、そこには「広山の神」がおられました。自分の土地を渡すわけにいかないと言う神さまに、聖徳太子がお願いすると、「檀特山から岩を投げ、飛んでいった範囲を譲る」と言われました。

そこで、聖徳太子が檀特山から岩を投げると…はるか遠くまで飛んでいきました。新舞子まで飛んでいったと言われています。

さすがに、そんなにたくさんの土地はやれないと思った神さまは、「小指で石をはじき、そこまでを範囲としてください」と言いました。

そして、聖徳太子は小石を集め、指ではじいていきました。その石が落ちた範囲が聖徳太子の土地「鵜荘」(今の太子町の一部)になったと言われています。



投げ石はどこにある？

投げ石は、太子町内に5か所、姫路市大谷に1か所あります。「ぼうじ石」とも言われています。太子町のマスコットキャラクターである「ぼうじい」のモチーフとなった石ですね。

投げ石は、実は太田小学校のすぐ近くにもあるんです。みなさんもぜひ、見に行ってみてください！

太子町内の投げ石の場所

- ・東南の投げ石
- ・東出の投げ石
- ・鵜北山根の投げ石
- ・松ケ下の投げ石
- ・平方の投げ石

↓ 東南の投げ石



↓ 東出の投げ石



↓ 鵜北山根の投げ石



↓ 松ケ下の投げ石



↓ 平方の投げ石



檀特山クイズ

檀特山や投げ石に関するクイズです！何問正解できるかな？

【第1問】檀特山の標高は何メートル？

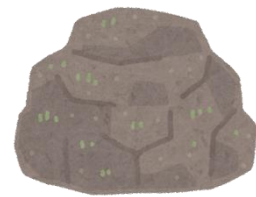
- A:144.6メートル
- B:165.1メートル
- C:184.6メートル



【第2問】

檀特山の頂上にある大きな岩にはどんな特徴がある？

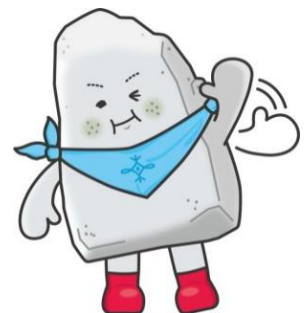
- A:かわった色をしている
- B:たくさんのくぼみがある
- C:夜になったら岩全体が光る



【第3問】

檀特山にある「感動岩」の名前の由来は？

- A:説法に感動した岩が勝手に動いたとされているから
- B:岩が涙を流しているように見えるから
- C:感動岩を見た人が感動するから



【第4問】

太子町内に「投げ石」は何個ある？

- A:8個
- B:7個
- C:5個

黒岡神社について

～黒岡神社の秘密に迫る！！～



黒岡神社は、兵庫県揖保郡太子町の田中地区にあり、奈良時代に建てられたと伝えられています。黒岡神社にはどんな歴史や魅力があるのでしょうか…。皆さんもこのパンフレットを読んで「黒岡神社マスター」になり、実際に黒岡神社に足を運んでみてください！

黒岡神社に祀られる神様

黒岡神社に祀られている三柱について紹介します。

【災いよけの神様：誉田別命(ほんだわけのみこと)】

応神天皇と同じとされ、「八幡さん」とも呼ばれます。昔、応神天皇のお母さんの神功皇后が戦に向かう途中、黒岡神社のあたりを通り、「ことあげ」(大声をだすこと)をするなどと言った「ことあげの丘」の伝説があります。

誉田別命の紋である「三つ巴紋」には、水が渦を巻く様子から、火事よけなどの意味があります。



【学問の神様：菅原道真(すがわらのみちざね)】

平安時代の学者の家に生まれた学者・政治家。幼少期から和歌の才能があり、数々の和歌を残しています。

しかし、身に覚えのない罪で京都を追い出され、九州で亡くなりました。道真の死後、京都に病気が流行り、雷が落ち、人々の間では「道真の呪いだ!」となりました。道真の怒りや無念をすずめるために神様として祀り、のちに生前の活躍から学問の神様になりました。菅原道真が丑年生まれで、道真にゆかりの深い動物であるとされていることから、黒岡神社には牛の像もあります。

【地域の守り神：藤原貞国(ふじわらのさだくに)】

奈良時代の弓の名手。奈良時代、今のたつの市で5本足の子牛が生まれ、「不吉なことが起こる!」と思った朝廷が占わせました。すると翌年、本当に不吉なことが起こります。海から敵が攻めてきたのです。その時に活躍したのが藤原貞国です。貞国については、15ページで紹介しています。

6つの地区が隠された絵馬とは？？

黒岡神社には大きな絵馬があります。この絵馬には、なんと6つの地区の名前が隠されています。「田中」、「沼田」、「下出」、「北村」、「町与」、「川島」の6地区です。どうして地区の名前が隠されているのでしょうか…。

神主さんによると、黒岡神社が6つの地区に世話になっており、これらの地区を守っていこうという思いで描いているそうです。

そしてこの絵馬は、なんと毎年神主さんが自ら描いておられます！みなさんに見ていただきたいという思いで、6つの地区を隠して描いているそうです。絵は、干支によって毎年変わります。

ぜひ、絵馬の中に隠された地区を探してみてください！



狛犬は犬じゃない！！

黒岡神社には狛犬があります。狛犬は、もとは犬じゃないって知っていますか？

古代エジプトの守り神であるスフィンクスやライオンが、中国を通じて日本に伝わり、狛犬になったとも伝わります。だから狛犬は、もともとは獅子なんです。

狛犬には、オスとメスがいます。また、狛犬は「あ」と口を開けていたり、「ん」と口を閉じたりしています。口を開けている、口を閉じていることには理由があり、この世界の初めから終わりと言うことを示しています。

狛犬が座っている台の下には、「奉納」と書いてあります。奉納とは、神や仏にあげる品、という意味で使われています。

↓「あ」の狛犬



↓「ん」の狛犬



神社の古墳は誰のもの??

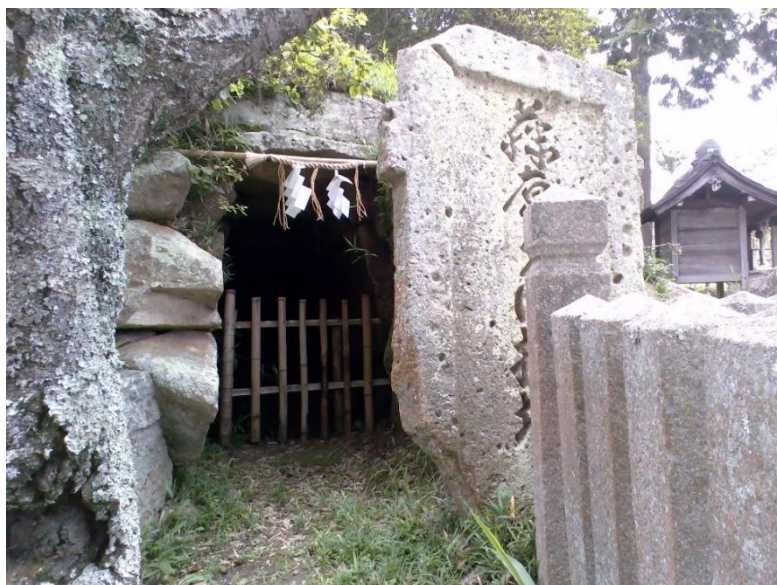
黒岡神社の一画に、うす暗い洞窟のような場所があります。この場所は、ある人の古墳(お墓)です。誰の古墳なのでしょう。

今から1000年以上前、藤原貞国という人がいました。貞国は、弓の名人でした。海から敵が来た際、貞国が弓を使って戦おうとしたら、急に海が荒れ、敵船が沈没しました。貞国は、敵を射ぬいて、勝利しました。その後、貞国は戦での活躍を認められ、西播磨あたりの土地を治める長官となり、黒岡に住みました。

いつのころからか、村の人達が「この古墳は貞国のものに違いない」と思い、古墳の石に貞国の名前を刻みました。

古墳は、直径15メートルの円墳で、貞国が活躍するより前の古墳時代後期に作られました。古墳はいったい誰の物か、なぞは深まります。

↓ 藤原貞国の名前が刻まれた古墳



黒岡神社クイズ

黒岡神社について詳しく知れましたか？最後に、クイズに挑戦してみましよう！

【第1問】黒岡神社には動物の像があります。何の動物でしょう？

A.熊 B.牛 C.鹿

【第2問】三つ巴紋にはどんな意味があるのでしょうか？

A.災いよけ B.願望成就 C.商売繁盛

【第3問】黒岡神社には菅原道真が関係しています。その人は何の神様と呼ばれているでしょう？

A.学問の神様 B.弓の神様 C.牛の神様

【第4問】黒岡神社にもある狛犬は、何の動物でしょう？

A.犬 B.おおかみ C.獅子

【第5問】黒岡神社の絵馬は誰が描いているのでしょうか？

A.子ども会の子ども B.神主さん C.地域の方たち

【第6問】藤原貞国は何の名人だったでしょう？

A.鉄砲 B.刀 C.弓



何問正解できましたか？全問正解できた人は黒岡神社マスター！

【第6問】C 【第5問】B 【第4問】A 【第3問】A 【第2問】B 【第1問】A

黒岡神社の秋祭り



黒岡神社の秋祭りは、毎年10月の3連休中に開催されています。多くの
人たちの協力で盛り上がる秋祭りを、たくさんの人が楽しみにしています。

ぜひこのパンフレットを読んで、秋祭りの魅力や見どころを知ってください
い！

祭りの詳細

〈日にち〉

毎年10月の祝日（第2月曜日）の前日、前々日の土日に行われます。

〈準備期間〉

1年かけて準備します。準備→開催→反省 これを繰り返します。
祭りが終わった次の日から、次の祭りに向けて動き出しています！

〈祭りに必要な人数〉

祭りには約60人以上必要です。60人は屋台を担ぐ人、他は交通整理する人、しでを持つ人、子ども会の人など、他にも多くの人たちが関わっています。

〈屋台〉

- ・田中屋台は、平成10年に作られました。
屋台の屋根には、みこし屋根と布団屋根があります。
- ・みこしと屋台の違いは、みこしは神様が乗る乗り物で、屋台は人が乗って太鼓を叩いたりするものです。



祭りの見どころ

私達が思う祭りの見どころを紹介します！

〈町与と田中の2台練り〉

屋台練りの見どころは、1日目の夜に行われる2台練りです。2台の屋台が光ってチョーサをしている所は、とてもきれいで かわいいです！

〈西山を「ヨーイヤサー」と言いながら担ぎ登る所〉

西山を「ヨーイヤサー」と言いながら登るところは、乗り子も練り子も、色々な人に気合が入るところでもあります。

見ている側は、ドキドキしますし、屋台が登り終わると、大きな 拍手や歓声が上がります。色々な人が見てくださっていると思ったら、「あとちょっと頑張ろう！」と思う人も多いと思います！

他にもたくさんのみどころがあります。ぜひ見てください！！



田中屋台が通るルート

1日目



2日目



祭りについてインタビュー！

祭りについて、祭りの実行委員会の方へインタビューしました！

祭りにはどういう意味があるのですか？



米や作物が実ったことに対して感謝し、神様に豊作を伝えたりお願いしたりする意味があります。それだけでなく、日頃あまり出会わない人と一緒に屋台を担いでコミュニケーションをとる大切な交流の場としての意味もあります。



乗り子は地面に足をつけてはいけませんか？



屋台には4人の乗り子が乗ります。乗り子は神聖なものとされているので、地面に足をつけてはいけません。大人が肩車するなどして移動することが多いです。



祭りを続けていく上での苦労はなんですか？



祭りはとても多くの人の協力で成り立っています。たくさんの人に出てきてもらって続けていくのは大変ですが、喜びも大きいです。



祭りをやっていくなかでの喜びとはどんなことですか？



地域の人が玄関先で待ってくれていることや、チョーサをするたびに大きな拍手をくれることが喜びです。乗り子からのお礼の言葉もすごく嬉しいです。



ありがとうございました！
これからも祭りを盛り上げてください！

